

2023年卒業 内定者に関する調査報告

学術研究院（学士課程基盤教育機構）

山本 美奈子
松坂 暢浩

調査の概要

1.調査のまとめ

2.対象者全体の内定状況

3. 就職活動の状況

- 3-1 就職活動中に参考になった情報源
- 3-2 就職活動中に困ったこと
- 3-3 就職活動中に知りたかったこと
- 3-4 仕事選びや会社選びの基準
- 3-5 希望する「年間休日」の目安と理由
- 3-6 希望する「基本給」の目安と理由
- 3-7 就職活動中の活動量
- 3-8 就職活動の終了時期
- 3-9 内定承諾の理由
- 3-10 内定辞退の理由

4. 大学の就職支援に対する評価

1. 調査のまとめ

1. 対象者全体の内定状況のまとめ

- ・ 民間企業の内定者は79.3%、公務員は15.2%
- ・ 山形県の内定者は20.7%
- ・ 南3県（山形、宮城、福島）の内定者は39.1%

2. 就職活動の状況のまとめ（1）

- ・ 情報源で参考になったのは、リクナビやマイナビなど大手就職情報サイトや学内外の合説であった。
- ・ 困りごとは、コロナ禍で就職活動の仕方がわからない、周りの状況がわからない、情報共有できないなど。

1. 調査のまとめ

2. 就職活動状況のまとめ（2）

- ・ 6月までに内定先を決めた割合は、53.3%
昨年度の同時期よりも、2.3%高い状況だった。
- ・ 10月には、9割以上が決まっていたが、11月以降に決まった学生も1割近くいた。
- ・ 就職活動量として、エントリー数や面接回数、内々定獲得が前年より上回っていた。
- ・ 内定承諾の理由は、第一志望の企業だったから、雰囲気が良い、福利厚生、やりたいことが一致していたなど。
- ・ 内定辞退の理由は、第一希望から内定を頂いたから、転勤がある、希望勤務地ではない、条件面であわないなど。

1. 調査のまとめ

3. 大学の就職支援に対する評価

- ・ 就職支援満足度は、大変満足、満足をあわせると53.3%（昨年より7.3%向上）
- ・ 改善要望としては、支援の開始時期が他の大学に比べて遅く感じた。就職活動に入る前の比較的早い時期に就職活動に関するふみこんだ講義を希望など。

2-1 基本属性 (n=92)

3キャンパスの2023年卒の内定者が対象 回答者は92名、平均年齢22.9歳

性別	回答者数	割合 (%)
男性	49	53.3%
女性	41	44.6%
その他	2	2.2%
合計	92	100.0%

出身高校所在地別	回答者数	割合 (%)
山形県	20	21.7%
宮城県	23	25.0%
福島県	10	10.9%
岩手県	6	6.5%
秋田県	2	2.2%
青森県	5	5.4%
その他地方	21	22.8%
大都市圏	5	5.4%
合計	92	100.0%

文理別	回答者数	割合 (%)
文系学部	29	31.5%
理系学部	37	40.2%
文系大学院	4	4.3%
理系大学院	22	23.9%
合計	92	100%

山形県内の就職を検討	回答者数	割合 (%)
検討していた	37	40.2%
検討していない	55	59.8%
合計	92	100.0%

・ 40.2%が山形県での就職を検討

2-2 内定先と都道府県別進路状況 (n=92)

- ・ 民間企業の内定者は79.3%、公務員は15.2%
- ・ 山形県の内定者は20.7%
- ・ 南3県（山形、宮城、福島）の内定者は39.1%

内定先(本社) 所在地	回答者数	割合 (%)
山形県	19	20.7%
宮城県	14	15.2%
福島県	3	3.3%
岩手県	2	2.2%
青森県	3	3.3%
その他地方	11	12.0%
大都市圏	40	43.5%
合計	92	100.0%

内定先(本社) 所在地	民間企業 (%)		公務員 (%)		学校教員 (%)		合計 (%)	
山形県	16	17.4%	1	1.1%	2	2.2%	19	19.0%
宮城県	10	10.9%	3	3.3%	1	1.1%	14	16.2%
福島県	2	2.2%	1	1.1%	0	0.0%	3	3.5%
岩手県	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	2	2.1%
青森県	0	0.0%	3	3.3%	0	0.0%	3	1.4%
その他の地方	10	10.9%	1	1.1%	0	0.0%	11	24.6%
大都市圏	35	38.0%	5	5.4%	0	0.0%	40	30.3%
合計	73	79.3%	14	15.2%	5	5.4%	92	100.0%

3-1 就職活動中に参考になった情報源（複数回答）

情報源	回答者数	割合（％）
就職情報サイト（リクナビ、マイナビなど）	72	28.5％
学内の合同企業説明会	27	10.7％
学外で開催された企業・自治体などの個別企業説明会	16	6.3％
学外の合同企業説明会	16	6.3％
大学の求人検索ナビ	16	6.3％
先輩からの助言	15	5.9％
同級生	15	5.9％
学内で開催された企業・自治体などの個別企業説明会	13	5.1％
OBOG	13	5.1％
家族（親、祖父母、親せきなど）	12	4.7％
大学のキャリアセンターの個別相談や就職セミナーなど	11	4.3％
自治体の情報（地元就職に関する情報など）	11	4.3％
ゼミや研究室の教員	7	2.8％
ハローワーク（新卒応援ハローワーク）	6	2.4％
その他	2	0.8％
学部・学科が主催するセミナーやイベント	1	0.4％
合計	253	100.0％

92名中
253個の記載

上位は

- ・ リクナビやマイナビの就職情報サイト
- ・ 学内の合同企業説明会
- ・ 学外の合同企業説明会
- ・ 学内で開催され企業・自治体などの個別説明会

が占めていた

3-2 就職活動中で困ったこと（自由記述の一部抜粋）

- ・ 困りごとは、コロナ禍で就職活動の仕方がわからない、周りの状況がわからない、不安感など。

就職活動を振り返り、活動中に「困ったこと」

就職活動の仕方がわからなかった（複数回答）。

何から始めれば良いか分からず、出遅れた（複数回答）。

先輩や同期など相談する人がいない（複数回答）。

周りの学生の動向が気になって不安だった（複数回答）。

就活と研究との両立が大変だった（複数回答）。

一社でも内定をいただけるか常に不安だった（複数回答）。

オンライン中心で、雰囲気掴みづらかった。

採用担当者からメールの返信が来ない場合があり、不安になった。

同様のところを受けた先輩方や同級生がいなかったため、情報を得るのが困難。

同じ公務員志望の学生の状況が分からず大変だった。

3-3 就職活動中に知りたかったこと(自由記述)

活動中に「もっと知りたかったこと」 (大学側への自由記述の一部抜粋)

面接対策、直前対策（複数回答）
説明会の受け方や就活の進め方などの詳しい説明です。
対面の面接練習ができる案内をもう少し早めに欲しかった。
先輩たちの体験談や合格の秘訣を知りたかった。
先輩がどこに就職しているのか知りたかった。
面談をするまでもない、面談では間に合わない前日などにちょっとした疑問(服装やマナーなど)に関して聞く場所がなかった。
ESの作成に時間がかかること。
同じ受験生と対面で話す機会
23卒全体の就職状況（複数回答）。
証明書等がどこでいつ発行されるかをもう少しメールなどで積極的に発信してほしい。
志望する業界や職種の情報。
地方だけでなく大学側からの全国的な会社の情報がもっと欲しかった。
就活を本格的に始めないと（インターン経験など）、就活のことがちゃんと分からなかった。わかるまでにかなり時間を要した。
山大の就活サイトは内定先を記入するだけでなく募集情報も掲載されているということ。
説明会等で知り合った友人と連絡を取り合って相談していましたが、そういう存在がもっと身近にいたら嬉しかった。
教職以外の職種に触れる機会。
都道府県を跨いだ農業研修を受ける要件を明確に定めて欲しい。

活動中に「もっと知りたかったこと」 (企業側に対しての自由記述の一部抜粋)

質問時間を多く設ける会社が増えしてほしい（複数回答）。
対面で職場見学をしたかった（複数回答）。
可能であるならば先輩の話をもっと聞きたかった（複数回答）。
すべてオンラインだったため、対面で話ができる機会が欲しかった。
対面でのOB訪問の機会。
社内の雰囲気を知りたかった（会社に直接行く機会が欲しかった）。
内定までのスケジュールをもっと明確に示してほしい。
説明会等で聞きづらい給与面や福利厚生等は、企業側が質問されなくても十分なほどの情報を載せてほしい。

3-4 仕事選びや会社選びの基準（複数回答）

- 「福利厚生や手当の充実」、「希望地域で働く」「給料が良い」が上位を占めていた。

会社選びや仕事選びの基準	回答数	割合
休みが多い	28	7.9%
残業が少ない	21	5.9%
知名度や安定性	32	9.0%
給料が良い	34	9.6%
福利厚生や手当の充実	51	14.4%
会社や業界が安定している	36	10.2%
希望する地域で働ける	47	13.3%
人間関係が良い	21	5.9%
専門を生かして働ける	30	8.5%
自分の成長を実感できる	16	4.5%
仕事にやりがいを感じられる	36	10.2%
その他	2	0.6%
合計	354	100.0%

3-5 希望する「年間休日」の目安と理由

- ・ 57,6%が110日～120日以上を希望。
- ・ 理由には、一般的な平均休日日数と考えるから。仕事と生活のバランスが大事だと思うから。趣味の時間を確保したいなど。

基本給の希望額	回答数	割合
109日～100日	4	4.3%
119日～110日	9	9.8%
120日以上	44	47.8%
とくに重視していなかった	35	38.0%
合計	92	100.0%

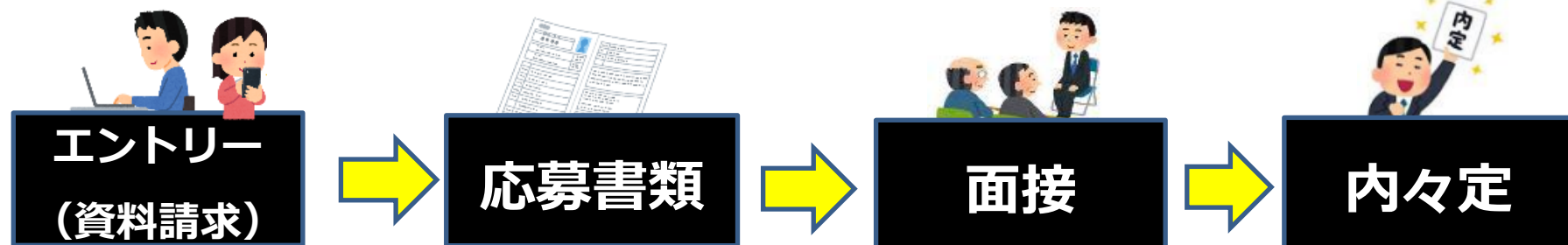
3-6 希望する「基本給」の目安と理由

- ・ 54,3%が20万円～22万円を希望。
- ・ 理由には、奨学金のことや生活を考えると20万円は最低でも希望、一人暮らしにおける日々の暮らしと将来貯蓄のためなど。

基本給の希望額	回答数	割合
18万円～17万円	4	4.3%
20万円～19万円	22	23.9%
22万円～21万円	28	30.4%
24万円～23万円	14	15.2%
25万円以上	4	4.3%
とくに重視していなかった	20	21.7%
合計	92	100.0%

3-7 就職活動中の活動量 (n=92)

エントリー数や面接回数、内々定獲得が前年より上回る



エントリー数	回答者数	割合 (%)
1～5	25	27.2%
6～10	21	22.8%
11～20	21	22.8%
21～30	7	7.6%
31～40	6	6.5%
41～50	3	3.3%
51以上	7	7.6%
0	2	2.2%
合計	92	100.0%

応募提出数	回答者数	割合 (%)
1～5	44	47.8%
6～10	21	22.8%
11～20	17	18.5%
21～30	6	6.5%
31～40	2	2.2%
41～50	2	2.2%
合計	92	100.0%

面接参加数	回答者数	割合 (%)
1～5	51	55.4%
6～10	30	32.6%
11～20	9	9.8%
21以上	2	2.2%
合計	92	100.0%

内々定数	回答者数	割合 (%)
1	38	41.3%
2	30	32.6%
3	13	14.1%
4	6	6.5%
5	3	3.3%
6以上	2	2.2%
合計	92	100.0%

<参考：全国平均>

24.79

12.36

7.84

2.35

3-8 就職活動の終了時期 (n=92)

- ・ 6月までに内定先を決めた割合は、53.3%
昨年度の同時期よりも、2.3%高い状況だった
- ・ 10月には、9割以上が決まっていたが、11月以降に決まった学生も1割近くいた

内定先（就職先）に決めた「時期」 (就職活動終了時期)	回答者数	割合(%)
3月より以前	6	6.5%
3月	2	2.2%
4月	8	8.7%
5月	18	19.6%
6月	15	16.3%
7月	10	10.9%
8月	11	12.0%
9月	5	5.4%
10月	10	10.9%
11月以降	7	7.6%
合計	92	100.0%

3-9 内定承諾の理由（自由記述）

- ・ 内定承諾の理由は、第一志望の企業であったから。雰囲気が良い、福利厚生、やりたいことが一致していたなど

内定承諾をした理由（自由記述の一部抜粋）

第一希望の企業のため（複数回答）。

人事や会社の人の雰囲気と仕事内容（複数回答）。

福利厚生が充実していたから（複数回答）。

給料や年間休日の多さから、総合的に判断した。

やりがい、給料、将来性などが妥協できる会社だから。

地元に深く関わっていける業務に魅力を感じたから。

自分の専門を最大限生かせそうだったため即決。

勤務先が地元であること、社内の雰囲気

初期からオファーをしてくれ、自分が必要とされていると感じたから

世界的にシェアの高い企業であるため、先端的な技術に携われると考えたため。

希望の勤務地で、かつ休日の日数も希望に近いものだったため。

面接を受けた中で最も雰囲気が自分に合っていると思ったため。

人です。組織の顔となる説明会で出会う人々の雰囲気、仕事に対する熱量等々、好印象でした。

ほかの内定先よりも若干待遇が良かったことに加え、内定を頂いた企業の中で一番興味のある職業だったため。

内定承諾を2ヶ月以上保留していたが、その間何回も面談を取り持ってくれたこと、会社に来て欲しいという気持ちを強く感じたこと。

3-10 内定辞退の理由（自由記述）

- ・ 内定辞退の理由は、第一希望から内定を頂いた、転勤がある、希望勤務地ではない、条件面であわないなど。

内定辞退の理由（自由記述の一部抜粋）

第一志望から内定を頂いたから（複数回答）。

転勤があったため（複数回答）。

希望していない勤務地だったから（複数回答）。

勤務先が、希望どおりにならなそうだったから（複数回答）。

福利厚生面を検討した結果（複数回答）。

配属先が未確定だったり、給与の面で。

休みが固定ではなくシフト制だったところが、生活のリズムを作るうえで難しく感じたため。

給料は高かったが、面接官の態度が高圧的だった。

4-1 大学の就職支援に対する評価

- ・ 大変満足、満足をあわせると53.3%（昨年より7.3%向上）

就職支援満足度	回答数	割合
大変満足している	14	15.2%
満足している	35	38.0%
どちらともいえない	29	31.5%
あまり満足していない	13	14.1%
まったく満足していない	1	1.1%
合計	92	100.0%

4-2 就職支援の評価、満足内容と要望

●満足内容（一部抜粋）

- ・就職活動の初歩的な内容についての合同説明会の回数が多く、取り残された不安感が小さくなった。
- ・面接対策や悩み相談に親身に応じてくださったのが助かった。
- ・オンラインの面接の際に、パソコンや照明を貸し出してくださり、スムーズに行うことができた。
- ・周りのペースが見えない中で、自分のやっていることが適切であるかを客観的に知ることができた。
- ・自己分析の講座が参考になった。

●改善要望（一部抜粋）

- ・支援の開始時期が他の大学に比べて遅く感じたので、スタートの時点で遅れてしまっているのではないかと不安になった。
- ・就職活動に入る前の比較的早い時期に就職活動に関するふみこんだ講義(マナーや企業の検討方法)などを受ける機会があれば良かったと思う。
- ・前例を早い段階で開示して欲しかった。
- ・山形就職を結構推していると思う。
- ・キャリアセンターの対応があまり手厚くなかった。相談の予約もなかなかとれなかった。